Y613-20558-00 Rev.A

corega

取扱説明書

CG-PC2XDAM

このたびは、「CG-PC2XDAM」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書をお読みになり、正しく設置・操作してください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

付属品一覧

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- □ CG-PC2XDAM 本体
- □ 専用ケーブル
- □ マジックテープ
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 製品保証書

商品の特長

本商品は、1 組のキーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォン（スピーカ）で 2 台のパソコンを切り替えて操作できるパソコン切替器です。次のような特長があります。

■DVI ディスプレイに対応
DVI のデジタル接続に対応します。解像度は 1,920×1,200 まで対応します。

■HDCP 対応
HDCP で保護されたコンテンツの受信・再生に対応します。
※ お使いのディスプレイやビデオカードも HDCP に対応している必要があります。
※ HDCP 対応コンテンツ視聴中のパソコンの切り替えには対応していません。

■マウスエミュレーション機能・マウス切替機能に対応
OS 標準のドライバで動作し、パソコン切り替え後もすぐにマウスを操作できます。さらに、マウス切替機能を有効にすると、マウスのホイールボタンでパソコンを切り替えられます。
※ 多機能マウス・ワイヤレスマウスとは排他利用になります。

■多機能マウス・ワイヤレスマウスに対応
お使いのマウスのドライバを使用できます。
※ マウスエミュレーション機能・マウス切替機能とは排他利用になります。

■かんたん接続
ソフトウェア不要で、接続すればすぐに使用できます。バスパワー動作で、AC アダプタなどの外部電源も不要です。
※ 専用ケーブルの USB 端子とキーボード端子はすべてパソコンに接続してください。

■裏起動に対応
選択されていないパソコンを起動しても適切な解像度で起動します。

■PC シャットダウン連動切替に対応
2 台のパソコンの電源がオンのときに、1 台のパソコンの電源をオフにすると電源がオンになっているもう 1 台のパソコンへ自動的に切り替わります。
※ お使いのパソコン・環境に依存します。すべてのパソコン・環境での動作は保証しません。

■キーボードのホットキーを切り替え可能
キーボードのホットキー操作のトリガーを、[Scroll Lock] キー（初期値）または [Ctrl] キーに設定できます。

■キーボード・マウスのみの接続に対応

■RoHS 指令に準拠

動作環境

■対応パソコン
DVI ディスプレイ出力端子とキーボード用 PS/2 端子と USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン

■対応 OS
Windows 7（64bit/32bit）、Windows Vista（32bit）、Windows XP（32bit）、Windows 2000、Windows Server 2008（32bit）、Windows Server 2003（32bit）、Windows Server 2000、Windows 2000 Advanced Server、Linux（※）
（※サポート対象外：Linux）

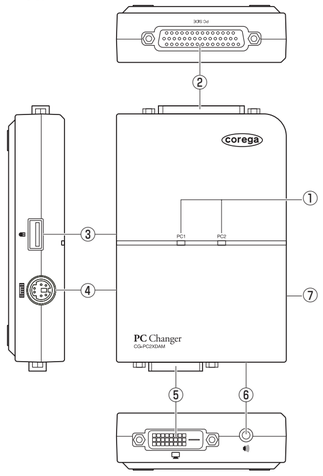
■対応機器
- DVI ディスプレイ× 1
- PS/2 キーボード ×1
- USB マウス× 1
- ステレオミニプラグ接続のヘッドフォン（スピーカ）×1

注意
- 本商品の接続には付属の専用ケーブルを使用してください。
- 本商品にはデジタル信号とアナログ信号の変換機能はありません。付属の専用ケーブルを使用した DVI-D のデジタル転送のみ対応します。
- 自作パソコンや、本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどで増設したパソコンはサポート対象外となります。
- ノートパソコンでは、BIOS やハードウェアの制限により使用できない場合があります。
- NEC PC-9801 ／ PC-9821 シリーズには対応していません。
- 84 キーボード、AT 規格キーボード、USB キーボードには対応していません。
- DOS/V パソコン用キーボードに対応します。
- シリアルマウス、PS/2 マウスには対応していません。
- レジューム、サスペンド機能（パソコンの休止機能）には対応していません。
- 特定のパソコンやアプリケーションに依存するキー（ワンタッチボタン（※）を含む）や、特別な機能（専用ドライバやユーティリティなど）を持ったキーボードの動作についてはサポート対象外です。
  ※専用キーボードからレジューム機能、インターネット、電子メールソフトウェアなどをワンタッチで起動できるボタン。
- 音声出力ポートにスピーカを接続する場合は別途アンプおよび外部電源が必要です。

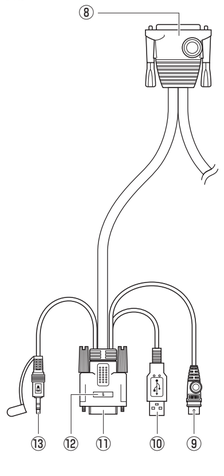
メモ ディスプレイの解像度は 1,920 × 1,200 まで対応しています。ただし、お使いのディスプレイやグラフィックボードによって動作しない場合があります。

各部の名称と機能

■本体



■専用ケーブル



① **PC1 ／ PC2 LED（緑）**
本商品の PC ポートの状態を表します。PC1 ／ PC2 の表示は専用ケーブルのディスプレイ端子（DVI-D）をご覧ください。
点灯：ポートが選択されています。
消灯：ポートが選択されていません。
点滅：オートスキャンでポートが選択されています。

② **専用コネクタ（メス）**
付属の専用ケーブルを接続します。

③ **コンソール用マウスポート（USB）**
マウスを接続します。USB マウスに対応します。

④ **コンソール用キーボードポート（PS/2）（紫）**
キーボードを接続します。PS/2 キーボードに対応します。

⑤ **コンソール用ディスプレイポート（DVI-D）**
ディスプレイを接続します。DVI ディスプレイに対応します。

注意 本商品にはデジタル信号とアナログ信号の変換機能はありません。DVI-D のデジタル転送のみ対応します。

⑥ **コンソール用音声出力ポート（ステレオミニジャック）（黄緑）**
ヘッドフォンまたはスピーカなどを接続します。ステレオミニプラグの音声出力機器に対応します。

⑦ **シリアル番号／リビジョン（底面）**
本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへのお問い合わせのときに必要となります。

⑧ **専用コネクタ（オス）**
本体の専用コネクタに接続します。

⑨ **キーボード端子（PS/2）（紫）**
パソコンの PS/2 ポート（紫）に接続します。

⑩ **マウス端子（USB）**
パソコンの USB ポートに接続します。

⑪ **ディスプレイ端子（DVI-D）**
パソコンのディスプレイポートに接続します。

注意 本商品にはデジタル信号とアナログ信号の変換機能はありません。DVI-D のデジタル転送のみ対応します。

⑫ **PC1 ／ PC2**
専用ケーブルの PC1 ／ PC2 を識別します。

⑬ **音声出力端子（ステレオミニプラグ）（黄緑）**
パソコンの音声出力ポート（黄緑）に接続します。

接続の前に

本商品を接続する前に、次の内容を確認します。

■設置場所について
本書 P.4「安全にお使いいただくためにお読みください」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。「接続図」と「接続手順」をご覧いただき、正しく接続・設置してください。

■動作を確認する
本商品を接続する前に、次の手順でお使いのパソコンでお使いのキーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォンが動作することを確認します。

① キーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォンの対応機種や対応 OS を確認します。

② お使いのパソコンにキーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォンを接続します。

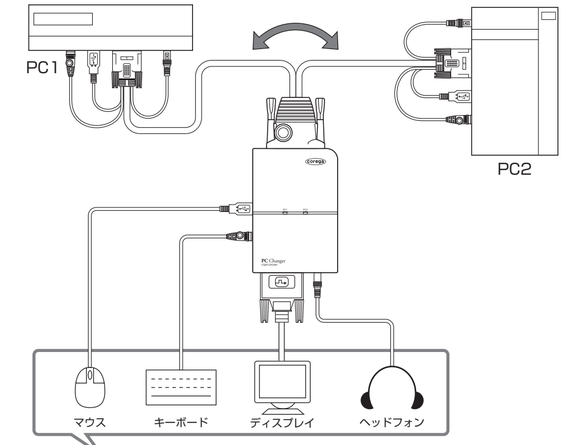
③ パソコンの電源をオンにします。

④ マウスのドライバをインストールします。

⑤ お使いのパソコンで、接続したキーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォンが正しく動作することを確認します。

以上で、本商品を接続する前の確認は完了です。
「接続図」と「接続手順」を参考に、本商品をパソコンを接続します。

接続図

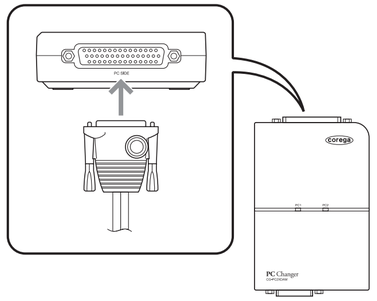


1 組のキーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォンを
2 台のパソコンで切り替えて使える！

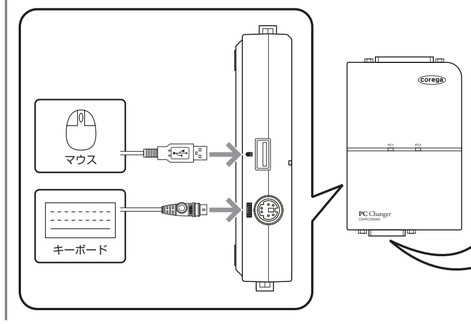
接続手順

注意
- 本商品を接続する前に、接続するパソコンとディスプレイの電源を必ずオフにしてください。スピーカと接続する場合は、スピーカの電源もオフにしてください。
- 接続の際にはコネクタの形状や向きをご確認ください。接続するコネクタや向きを間違えた場合、端子を破損するおそれがあります。
- 接続の際、ポートにしっかりと接続してください。しっかりと接続されていないと誤動作を起こしたり、動作が不安定になるおそれがあります。
- ケーブルが引っ張られた状態で接続したり、ケーブルの上に物など置いたり、ねじったり、無理に折り曲げたりしないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。

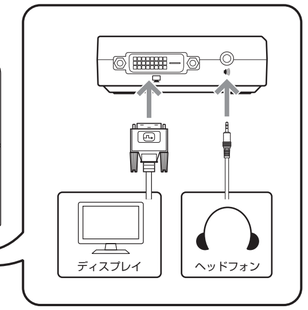
1 専用ケーブルを本体に接続



2 マウス・キーボードを接続

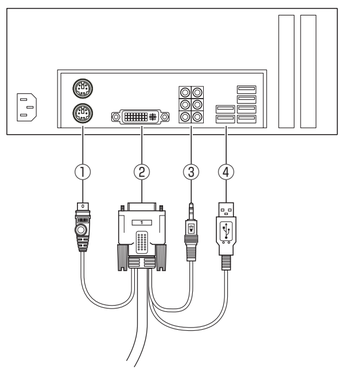


3 ディスプレイ・ヘッドフォンを接続



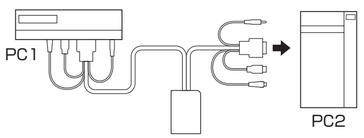
4 パソコンの各ポートに接続

	専用ケーブル	パソコン側
①	キーボード端子(PS/2)(紫)	PS/2 ポート(紫)
②	ディスプレイ端子	DVI ポート
③	音声出力端子(黄緑)	音声出力ポート(黄緑)
④	マウス端子(USB)	USB ポート



注意 パソコンから電力を供給するため、専用ケーブルの USB 端子と PS/2 端子は、すべてパソコンに接続してください。

5 もう 1 台のパソコンも 4 の手順で接続



6 2 台のパソコンの電源をオン

メモ マウスのドライバをインストールする必要がある場合は、マウスエミュレーション機能を無効に設定したうえで、ドライバをインストールしてください。
P.3「本商品の設定方法」「マウスエミュレーション機能」

接続完了!

本商品の操作方法（キーボードで切り替える）

本商品の動作	動作内容と操作方法
キーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォン（スピーカ）のすべてを切り替える	ホットキーを実行するごとに、キーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォン（スピーカ）すべてが切り替わります。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［Enter］ メモ：ヘッドフォン(スピーカ)が違うパソコンに選択されている場合は、キーボード・マウス・ディスプレイのみが切り替わります。
キーボード・マウス・ディスプレイまたはヘッドフォン(スピーカ)のみをを切り替える ワンポイント：音楽を再生したまま、もう１台のパソコンを操作できます。	ホットキーを実行するごとに、次の機器を切り替えます。 ○ キーボード・マウス・ディスプレイを切り替える ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［K］→［Enter］ ○ ヘッドフォン（スピーカ）のみを切り替える ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［S］→［Enter］
オートスキャン機能で切り替える ワンポイント：２台のパソコンに自動で作業をさせるときに便利です。	オートスキャンの操作方法は次のとおりです。 ① 次のホットキーを入力すると、オートスキャンが開始します（切替時間：５秒（初期設定））。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［A］→［Enter］ メモ：・オートスキャン中の動作は次のとおりです。 ・ディスプレイは、PC1 と PC2 に交互に切り替わります。 ・キーボード・マウスは、特定のキー入力以外は操作できません。 ・オーディオは、選択していたポートに固定されます。 ② オートスキャン中に次の数字キーを入力すると、切替時間を変更できます。 数字キー：1／2／3／4 切替時間：３秒／５秒（初期設定）／10 秒／20 秒 メモ：・テンキーからは入力できません。数字キーで入力してください。 ・切替時間は、オートスキャン中にいつでも変更できます。 ③ オートスキャンを終了する場合は、［Space］キーまたは［Ecs］キーを押します。 メモ：・オートスキャンを終了すると、キーボード・マウス・ディスプレイ・オーディオのすべてが選択したポートに切り替わります。 ・次回オートスキャン開始時は、手順②で変更した切替時間で切り替わります。

本商品の設定方法

本商品の設定を変更する場合のホットキー操作は次のとおりです。

本商品の動作	動作内容と操作方法
ホットキーを変更する ワンポイント：お使いの環境に合わせてホットキーを選択できます。	ホットキーを［Scroll Lock］キー（初期値）または［Ctrl］キーに設定できます。 ［Ctrl］→［Ctrl］→［X］→［Enter］ メモ：このホットキーは常に［Ctrl］キーで操作します。
マウスエミュレーション機能を設定する	マウス切替機能を使う場合は有効にします。多機能マウスのドライバなどをそのまま使う場合は無効にします（初期値：有効）。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［M］→［Enter］
マウス切替機能を設定する ワンポイント：マウスで切り替えできて便利です。	マウス切替機能を使う場合は有効にします（初期値：無効）。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［W］→［Enter］
本商品の設定を表示する	本商品の設定を表示する方法は次のとおりです。 ① メモ帳などのテキストエディタを起動します。 ② 次のホットキーを入力します。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［F4］→［Enter］ ③ メモ帳に本商品の設定が表示されます。
USB を再認識させる	USB マウスを再認識させます。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［F5］→［Enter］
EDID を検出する	手動でディスプレイの EDID を検出します。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［D］→［Enter］
本商品の設定を初期設定に戻す	本商品のすべての設定を初期設定に戻します。 ［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［R］→［Enter］

本商品の操作方法（マウスで切り替える）

マウスのホイールにクリック機能がある場合は、ホイールの操作でパソコンを切り替えられます。

注意：マウス切替機能を使う場合は、多機能マウスのドライバは利用できません。

■準備

マウス切替機能を使う場合は、あらかじめ次の設定が必要です。

① マウスエミュレーション機能を有効にします（初期値：有効）。
☞ P.3「本商品の設定方法」「マウスエミュレーション機能を設定する」

② マウス切替機能を有効にします（初期値：無効）
☞ P.3「本商品の設定方法」「マウス切替機能を設定する」

■操作方法

マウスのホイールボタンを２回クリックします。

トラブルシューティング

トラブルが発生した場合は、以下に挙げた原因と対処方法を参考に確認してください。改善が見られない場合は、お使いの環境や不具合状況の詳細をご記入のうえ、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。詳しくは P.4「商品に関するご質問は…」をご覧ください。

■キーボードのキー入力ができない

- キーボードのケーブルや専用ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- オートスキャン中は、特定のキー入力以外は操作できません。［Space］キーまたは［Esc］キーを押して、オートスキャンを終了してください。
- DOS/V パソコン用（PS/2 接続）の 106 キーボードまたは 109 キーボードを使用してください。特定のパソコンやアプリケーションに依存するキーや、特別な機能（専用ドライバやユーティリティなど）を持ったキーボードの動作についてはサポート対象外です。また、レジューム・サスペンド機能には対応していません。
- 本商品の動作が不安定になっている場合がありますので、次の内容を確認してください。
  ① 本商品に接続しているすべてのパソコンの電源をオフにし、本商品と取り付けているケーブルをすべて取り外して、５秒以上待ってから再度接続し直してください。
  ② 本商品の設定を初期設定に戻してください。本商品の設定を初期設定に戻すと、設定した内容はすべて初期設定に戻ります。
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「本商品の設定を初期設定に戻す」

■キーボードで切り替え操作ができない

- 正しく切り替え操作をしている、正しくキーを押している、キーを押す間隔が長すぎないことを確認してください。

■マウスが動作しない

- マウスのケーブルや専用ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- マウスのドライバをインストールして使う場合は、マウスエミュレーション機能を無効にしたうえで、ドライバが正しくインストールされていることや、デバイスマネージャでマウスが正しく認識されていることを確認してください。ドライバのインストール方法やドライバの設定方法は、お使いのマウスのマニュアルをご覧いただくか、マウスの製造元にお問い合わせください。
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「マウスエミュレーション機能を設定する」
- 本商品の動作が不安定になっている場合がありますので、次の内容を確認してください。
  ① USB を再認識させてください。
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「USB を再認識させる」
  ② 本商品に接続しているすべてのパソコンの電源をオフにし、本商品と取り付けているケーブルをすべて取り外して、５秒以上待ってから再度接続し直してください。
  ③ 本商品の設定を初期設定に戻してください。本商品の設定を初期設定に戻すと、設定した内容はすべて初期設定に戻ります。
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「本商品の設定を初期設定に戻す」

■マウスで切り替え操作ができない

- マウスで切り替える場合は、マウスエミュレーション機能を有効にしたうえで、マウス切替機能を有効にしてください。なお、ホイールがクリックできないマウスでは切り替えられません。
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「マウスエミュレーション機能を設定する」
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「マウス切替機能を設定する

■ディスプレイの表示がおかしい

- ディスプレイケーブルや専用ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。正しく接続されていても正常に動作しない場合は、ディスプレイケーブルを接続し直したり、ディスプレイケーブルを変更したりしてください。
- 選択しているポートに接続したパソコンの電源がオンになっていることを確認してください。
- 解像度または周波数帯域の設定が高すぎる場合は、設定を変更してください。
- EDID が正しく検出されていない場合は、手動で EDID を検出してください。
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「EDID を検出する」
- 本商品の動作が不安定になっている場合がありますので、次の内容を確認してください。
  ① 商品に接続しているすべてのパソコンの電源をオフにし、本商品と取り付けているケーブルをすべて取り外して、５秒以上待ってから再度接続し直してください。
  ② 本商品の設定を初期設定に戻してください。本商品の設定を初期設定に戻すと、設定した内容はすべて初期設定に戻ります。
  ☞ P.3「本商品の設定方法」「本商品の設定を初期設定に戻す」

■音声が出力されない／音声がおかしい

- ヘッドフォン（スピーカ）のケーブルや専用ケーブルがそれぞれ正しく接続されていることを確認してください。
- キーボード・マウス・ディスプレイのみを切り替えている場合は、ホットキー操作［Scroll Lock］→［Scroll Lock］→［S］→［Enter］で、音声出力をお使いのパソコンに切り替えてください。

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。
使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

- ⚠警告：この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠注意：この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

- この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。例）「分解禁止」
- この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。例）「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

- **家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。**
  感電、発煙、火災、故障の原因となります。
- **付属の電源ケーブルまたはACアダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたはACアダプタをほかの機器に使用しないでください。**
  感電、発煙、火災、故障の原因となります。
- **電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。**
  電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
  また、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜くときは、ケーブル部を持って抜かないでください。
- **電源ケーブルまたはACアダプタのたこ足配線はしないでください。**
  発熱して火災の原因となります。
- **アース線を接続してください。**
  本商品または電源ケーブルにアース端子が付いている場合は、アース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電、けが、火災、故障の原因となります。
- **本商品（ACアダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。**
  感電、けが、火災、故障の原因となります。
- **煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
  そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。
- **本商品の通風孔から液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
  そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。
- **濡れた手で本商品を扱わないでください。**
  感電の原因となります。
- **雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。**
  感電の原因となります。
- **小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。**
  けがの原因となります。
- **梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。**
  窒息する原因となります。
- **不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。**
  けが、故障の原因となります。
- **本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。**
  本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。
  本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

- **本商品（ACアダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。**
  ・多段積み
  ・通風孔をふさぐ
  ・前後左右、上部に十分なスペースがない
  内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。
  また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い湿度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。
- **本商品を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。**
  ・直射日光のあたる場所
  ・暖房器具の近くなど高温になる場所
  ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
  ・湿気の多い場所
  ・水などの液体がかかる場所
  ・振動のある場所
  ・ほこりの多い場所
  ・じゅうたんや布団などのある場所
  ・腐食性ガスの発生する場所
  ・台所、浴室、ユニットバス、洗面所など、水気や湿気が多い場所
  ・天井裏、クローゼットの中など、高温、多湿、風通しの悪い場所
  ・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
  感電、火災、故障の原因となります。
- **お手入れ可能な場所に設置してください。**
  本商品（ACアダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- **設置または移動するときは、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
  感電、火災の原因となります。
- **長期間使用しないときは、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
  火災の原因となります。
- **本商品に強い衝撃を与えないでください。**
  故障の原因となります。
- **静電気が発生しやすい場所に設置したり、帯電した手で本商品を触らないでください。**
  感電、故障の原因となります。

製品仕様

対応 PC		DVI ディスプレイ出力端子とキーボード用 PS/2 端子と USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン
対応 OS		Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000、Windows Server 2008（32bit）、Windows Server 2003（32bit）、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、Linux（※） （※サポート対象外：Linux）
対応周辺機器	ディスプレイ	DVI ディスプレイ（※ 1）
	キーボード	PS/2 キーボード
	マウス	USB マウス
	ヘッドフォン（スピーカ）	ステレオミニプラグ接続のヘッドフォン（スピーカ）
取得承認		VCCI クラス B
インタフェース	コンソール側	ディスプレイ：DVI-D メス× 1（※ 1）
		キーボード：PS/2 メス× 1
		マウス：USB シリーズ A メス× 1
		ヘッドフォン（スピーカ）：ステレオミニジャック ×1
	パソコン側	ディスプレイ / キーボード / マウス / ヘッドフォン（スピーカ）： 専用コネクタ（44 ピン）メス× 1
最大解像度		1,920 × 1,200
切替方法		キーボードによるホットキー切り替え、マウスのホイールボタンによる切り替え（※2）
切替音		なし
電源仕様（本体）	供給方法	USB ポート、PS2 ポートから供給（バスパワー）（※3）
	定格入力電圧	DC5V
	最大消費電流	660mA
環境条件	動作時	温度 0 ～ 40℃／湿度 5 ～ 80%（結露なきこと）
	保管時	温度－ 20 ～ 60℃／湿度 5 ～ 80%（結露なきこと）
本体形状		ボックスタイプ
ケーブル長（コネクタ部含む）		PC1 側：1.2m ／ PC2 側：1.2m
外形寸法		75（W）× 110（D）× 25.5（H）mm 本体のみ（突起部を含ます）
質量		125g 本体のみ

※ 1 DVI-D 接続（デジタル接続）のディスプレイに対応します。DVI-I や D-Sub（15 ピン）のアナログでの接続には対応していません。
※ 2 マウスエミュレーション機能、マウス切替機能を有効にした場合に使用できます。
※ 3 専用ケーブルの USB 端子と PS/2 端子をすべてパソコンに接続してください。

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。
修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- 弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- 「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格、修理受付期間などが記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

商品に関するご質問は…

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メールまたは電話でお問い合わせください。

■お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】
メールサポート：下記 URL をご覧ください。
http://corega.jp/faq/
電話：045-476-6268
〈受付時間〉
10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）
※ サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。
※ 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合せはお受けできませんのでご了承ください。
※ サポートセンタへのお問い合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.
※ 電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。

■必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- □ 製品名
- □ シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- □ お名前、フリガナ
- □ 連絡先電話番号、FAX 番号
- □ 購入店
- □ 購入日付
- □ お使いのパソコンの機種
- □ OS
- □ 接続構成
- □ お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

Copyright©2010 アライドテレシスホールディングス株式会社
corega は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカの商標または登録商標です。

2010年８月　初版

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。